

資源ごみの分別にご協力をお願いします

雑がみなどの資源ごみを燃やせるごみとして焼却すると、処理費用が必要となります。しかし、リサイクルすることによって「資源」となります。昨年度も、市民の皆さんのご協力により多くの資源ごみを回収し、市の大切な財源として生まれ変わりました。今後とも、ごみをリサイクルするための取り組みにご協力をお願いします。

平成 29 年度の「資源ごみの収集量」と「売り払い金額」



・ペットボトル	86.9t
・アルミ缶	54.9t
・スチール缶	50.7t
・古紙類	694.7t
・金属くず	149.7t
・衣類	46.9t



売り払い

25,146,524 円

夏休みの雑がみ分別大作戦を行いました

ごみが増える夏休みの期間中、環境学習の一環として、市内の小学校 4 年生を対象に家庭で「夏休みの雑がみ分別大作戦」を行い、雑がみの分別回収に取り組みました。

【雑がみの分別回収結果】

●市内小学校 4 年生（311 人）：
分別量 400kg

ごみを燃やすには、1kgあたり約 70 円の費用が必要となります。しかし、雑がみを資源として回収すると、1kgあたり約 10 円で売れ、収入となります。

今回の取り組みにより 32,000 円の節約になりました。

こうした取り組みは、ごみを減らすだけでなく、資源の節約や地球温暖化の防止など地球環境にやさしい効果があります。

ご協力ありがとうございました。



分別大作戦で回収した雑がみ

●問い合わせ 市環境企画課 ☎22-2230 FAX22-2247



11月は児童虐待防止推進月間です。

児童虐待とは…

- 身体的虐待** なく、殴る、蹴る、叩く、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、溺れさせる など
- 性的虐待** 子どもへの性的行為、性的行為を見せる、ポルノグラフィの被写体にする など
- ネグレクト** 家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かない など
- 心理的虐待** 言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別的扱い、子どもの目の前で家族に対して暴力をふるう(DV) など

乳幼児揺さぶられ症候群

赤ちゃんを激しく揺さぶらないで

赤ちゃんがなにをやっても泣きやまないと、イライラしてしまうことは誰にでも起こり得ます。しかし、泣きやまないからといって、激しく揺さぶらないでください。赤ちゃんや小さな子どもが激しく揺さぶられると、見た目にはわかりにくいですが、頭（脳や網膜）に損傷を受け、重い障害が残ったり、命を落とすこともあります。どうしても泣きやまない時は、赤ちゃんを安全な所に寝かせて、その場を少しの間でも離れ、まず自分をリラックスさせましょう。



虐待を受けたと思われる
子どもがいたら。

ご自身が出産や
子育てに悩んだら。

子育てに悩む
親がいたら。

児童相談所や市町村の相談窓口にご連絡ください。

連絡は匿名で行うことも可能です。連絡者や連絡内容に関する秘密は守られます。



お住まいの地域の児童相談所につながります。※一部のIP電話からはつながりません。※通話料がかかります。

●問い合わせ 市子ども相談室 ☎22-2267 FAX22-2245